

授業科目	高齢者支援学 I				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NT10605J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	坂巻 路可、荒木 剛、吉原 悦子、納戸 美佐子、山田 志麻、田路 千尋							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>各分野の実務家教員が自らの実践経験を踏まえて、以下の内容について教授する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉分野、保健医療分野、工学・技術分野の専門性と特徴を活かしつつ、アクティブシニアが活動的に生活し続けるための支援方法等について解説・実技指導を行う。 2. 高齢者の保健医療福祉分野に必要な多職種連携に係る知識・技術について、解説・実技指導を行う。 <p>※西南女学院大学、九州歯科大学、西日本工業大学の3大学による合同授業を行います。</p> <p>※授業は、8月26日(講義5コマ 場所:西日本工業大学)と27日(PBL4コマ 場所:九州歯科大学)の2日間、実施します。</p> <p>※授業の運営上、履修人数の制限を行う場合があります。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>【西南女学院大学(福祉学科)担当講義】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険制度の内容と動向について説明できる。 2. 地域包括ケアシステムの背景、考え方、具体的展開方法について説明できる。 3. 高齢者等によるボランティア活動の現状と意義について説明できる。 4. 高齢者等のボランティア活動に対する支援方法について説明できる。 <p>【西南女学院大学(栄養学科)担当講義】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の栄養状態の評価・判定について説明できる。 2. 高齢者の低栄養・過栄養と高齢者に特有な病態との関連について説明できる。 3. 高齢者が健康でアクティブな生活を維持増進するために必要なエネルギー及び栄養素とその食事バランスについて説明できる。 <p>【西南女学院大学(看護学科)担当講義】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者が健康でアクティブな生活を維持増進するために、高齢者の生活機能を評価する意義が説明できる。 2. 介護予防の観点から、高齢者の維持すべき運動機能・ADL機能・IADL機能について説明できる。 3. 高齢者の自立した生活機能と認知力の関係について説明できる。 <p>【九州歯科大学担当講義】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔機能の生理学・解剖学的特徴について概要を説明できる。 2. 歯科疾患の特徴とその予防方法に関する概要を説明できる。 3. 老化に伴う口腔機能の低下とその予防について説明できる。 4. 口腔機能の維持向上による摂食支援について説明できる。 <p>【西日本工業大学担当講義】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ユニバーサルデザインとバリアフリーの違いについて説明できる。 2. ユニバーサルデザインの7原則とその考え方を説明できる。 3. 安全で快適な食卓(キッチン)の考え方を説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	30	0	70	100	
知識・理解 (DP1-1)				10		20	30	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								

関心・意欲 (DP3-1)				10		30	40	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)				10		20	30	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
福祉分野、保健医療分野、工学・技術分野の専門性と特徴を理解し、高齢者(アクティブシニア)への支援について具体的に検討できる。また、その際に多職種連携に必要な知識・技術を活用し、実践できる。				福祉分野、保健医療分野、工学・技術分野の専門性と特徴を活かした高齢者(アクティブシニア)への支援について説明できる。また、その際に必要な多職種連携に係る知識・技術を説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)				
1	<p>【西南女学院大学(福祉学科)担当講義】 実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 介護保険制度の内容と動向について 地域包括ケアシステムの背景、考え方、具体的展開方法について 高齢者等によるボランティア活動の現状と意義について 高齢者等のボランティア活動に対する支援方法について(荒木・納戸) 	講義	当該内容についての予習・復習	30				
2	<p>【西南女学院大学(栄養学科)担当講義】 実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人体の構成成分と栄養状態の関連について 高齢者における低栄養・過栄養の問題について 高齢者の栄養管理について(坂巻・山田・田路) 	講義	当該内容についての予習・復習	30				
3	<p>【西南女学院大学(看護学科)担当講義】 実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 高齢者の生活機能を評価する意義について 高齢者総合的機能評価(CGA)の概要と評価の視点について 基本動作・ADL・IADLの見方について 活動と認知力の関係性について(吉原) 	講義	当該内容についての予習・復習	30				
4	<p>【九州歯科大学担当講義】 実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 歯と口の生理学・解剖学的特徴の概要。特に中高年で有病率の高い歯周疾患の特徴とその予防方法について 老化に伴い生じる口腔機能の低下の特徴とその 	講義	当該内容についての予習・復習	30				

	<p>予防方法について</p> <p>3. 高齢になっても安全・安心に食べ、楽しんで食事をするための支援のあり方について</p>			
5	<p>【西日本工業大学担当講義】</p> <p>実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。</p> <p>1. ユニバーサルデザインの基礎知識について</p> <p>2. ユニバーサルデザインの7原則とその考え方について</p> <p>3. 食卓をメインに「キッチンの種類」「収納方法」「使いやすい食器」等の考え方について</p>	講義	当該内容についての予習・復習	30
6	<p>【3大学合同による演習】</p> <p>実務家教員としての実務経験を活かし、3大学合同でアクティブシニアが活動的な生活を送り続けるための支援について検討する。(荒木・納戸・坂巻・山田・田路・吉原)</p>	演習	当該内容についての予習・復習	30
7	<p>【3大学合同による演習】</p> <p>実務家教員としての実務経験を活かし、3大学合同でアクティブシニアが活動的な生活を送り続けるための支援について検討する。(荒木・納戸・坂巻・山田・田路・吉原)</p>	演習	当該内容についての予習・復習	30
8	<p>【3大学合同による演習】</p> <p>実務家教員としての実務経験を活かし、3大学合同でアクティブシニアが活動的な生活を送り続けるための支援について検討する。(荒木・納戸・坂巻・山田・田路・吉原)</p>	演習	当該内容についての予習・復習	30
9	<p>【3大学合同による演習】</p> <p>実務家教員としての実務経験を活かし、3大学合同でアクティブシニアが活動的な生活を送り続けるための支援について検討する。(荒木・納戸・坂巻・山田・田路・吉原)</p>	演習	当該内容についての予習・復習	30
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高齢者支援に必要な基礎的知識(身体・精神機能、制度・サービス)及びユニバーサルデザインに関する知識を必要とする。			
テキスト	なし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書・教材:適宜紹介する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	高齢者福祉の現状について、新聞や関連雑誌等に目を通し理解を深めておくこと。			
達成度評価に関するコメント	プレゼンテーション内容、その他(講義の受講態度、PBL時の発言・態度・姿勢)で評価します。			